



2023年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月9日

上場会社名 メディア総研株式会社 上場取引所 東 福
コード番号 9242 URL <https://mediasouken.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 浩二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷口 陽子 TEL 092 (736) 5587
四半期報告書提出予定日 2023年6月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第3四半期の連結業績（2022年8月1日～2023年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第3四半期	852	—	270	—	269	—	185	—
2022年7月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年7月期第3四半期 185百万円 (—%) 2022年7月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第3四半期	155.15	149.99
2022年7月期第3四半期	—	—

(注) 2023年7月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年7月期第3四半期の数値及び四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第3四半期	1,471	1,245	84.6
2022年7月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2023年7月期第3四半期 1,245百万円 2022年7月期 ー百万円

(注) 2023年7月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年7月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年7月期	—	0.00	0.00		
2023年7月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年7月期の連結業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	994	—	203	—	205	—	142	—	120.59

（注）2023年7月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期3Q	1,196,700株	2022年7月期	1,182,900株
② 期末自己株式数	2023年7月期3Q	38株	2022年7月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期3Q	1,193,418株	2022年7月期3Q	1,164,346株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(収益認識関係)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響が長期化しながらも、各種制限等の緩和により、経済活動・社会活動が正常化へ向けた動きが進んでおります。一方で、世界的な原材料や資源の価格高騰、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、米国の地方銀行破綻などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である人材・就職支援業界においては、2023年3月の有効求人倍率は1.32倍（前年同月は1.23倍。厚生労働省調査）、完全失業率が2.8%（前年同月は2.6%。総務省統計局調査）となっており、新型コロナウイルス感染症の影響は残しつつも、安定的に推移しております。

このような環境のなか、当社グループは、事業の柱である「高専生のための合同企業説明会」のほか、全国の高専専門学校から各学校が主催する「学内合同企業説明会」の受託を中心に進めました。また、2022年10月に技術系転職サイト「転職スイッチ」のサービスにおいて、理工系人材の紹介をスタートしておりますが、製造業をはじめとする多くの企業において、高専卒業生などの理工系人材ニーズは旺盛であると感じております。それを受けて、技術系労働者の有料職業紹介事業などを促進する目的で、2023年2月1日付で子会社「メディア総研イノベーションズ株式会社」を設立いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は852,371千円、営業利益は270,803千円、経常利益は269,089千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は185,159千円となっております。

なお、当社は、主たる事業である学生イベントの開催日が第2、第3四半期連結会計期間に集中する傾向があり、通常、第2、第3四半期連結会計期間の売上高は第1、第4四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく増加する傾向にあります。

また、当社は学生イベント事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,338,830千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,257,105千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は132,845千円となりました。主な内訳は、無形固定資産45,679千円、投資その他の資産48,525千円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は226,452千円となりました。主な内訳は、買掛金46,942千円、未払法人税等53,324千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,245,223千円となりました。主な内訳は資本金240,597千円、利益剰余金814,088千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、メディア総研イノベーションズ株式会社の設立に伴い、2023年7月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。同社は、当社が実施している技術系労働者の有料職業紹介事業などを促進する目的で設立されており、当社グループの業績に及ぼす影響は2022年9月13日の「2022年7月期 決算短信」で公表いたしました通期の個別の業績予想に織り込んでおります。このため、通期連結業績予想につきましては、上記の個別の業績予想と同額としています。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2023年4月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,257,105
売掛金	68,775
仕掛品	3,293
貯蔵品	537
その他	9,964
貸倒引当金	△845
流動資産合計	1,338,830
固定資産	
有形固定資産	38,640
無形固定資産	
のれん	1,639
その他	44,040
無形固定資産合計	45,679
投資その他の資産	48,525
固定資産合計	132,845
資産合計	1,471,675
負債の部	
流動負債	
買掛金	46,942
未払法人税等	53,324
賞与引当金	18,269
その他	107,915
流動負債合計	226,452
負債合計	226,452
純資産の部	
株主資本	
資本金	240,597
資本剰余金	190,597
利益剰余金	814,088
自己株式	△60
株主資本合計	1,245,223
純資産合計	1,245,223
負債純資産合計	1,471,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2022年8月1日 至2023年4月30日)
売上高	852,371
売上原価	211,205
売上総利益	641,165
販売費及び一般管理費	
役員報酬	76,310
給料及び手当	87,894
賞与引当金繰入額	14,681
貸倒引当金繰入額	689
その他	190,786
販売費及び一般管理費合計	370,362
営業利益	270,803
営業外収益	
受取手数料	438
代理店手数料	1,063
その他	10
営業外収益合計	1,511
営業外費用	
解約金	2,617
その他	607
営業外費用合計	3,225
経常利益	269,089
特別損失	
減損損失	1,319
特別損失合計	1,319
税金等調整前四半期純利益	267,769
法人税等	82,610
四半期純利益	185,159
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	185,159

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2022年8月1日 至2023年4月30日)
四半期純利益	185,159
四半期包括利益	185,159
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	185,159
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2022年8月1日 至 2023年4月30日）

当社は、学生イベント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別及び収益認識の時期別に分解した情報は、以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年8月1日 至 2023年4月30日）

(単位：千円)

	学生イベント事業	合計
サービス別		
就職活動イベント	703,170	703,170
企画制作	149,200	149,200
合計	852,371	852,371
収益認識の時期		
一時点で移転される財又はサービス	788,032	788,032
一定の期間で移転される財又はサービス	64,338	64,338
合計	852,371	852,371

(重要な後発事象)

該当事項はありません。